

第 534号



たがら



発行 令和5年10月31日

練馬区立田柄小学校

校長 伊藤 雄一

練馬区立田柄小学校の
学校ホームページ
携帯サイトはこちらから



「ヤバい」は、やばい。

校長 伊藤 雄一

「やばっ」「すごっ」…。教室で授業中の会話で自然に使われ、聞かれる言葉です。時には、教師も子供たちとの楽しい会話のやり取りをする中で話すこともあるほど、ごく自然な言葉として使われています。「やばい」は、元々具合が悪いことを意味する「やば」から生まれた言葉です。江戸時代、泥棒が自分たちの身に危険が迫った時に、仲間だけに伝わる秘密の言葉として「やばい」と表現するようになったといわれています。元々悪い意味合いで使われていたけれど、最近では、「最高」や「素晴らしい」のように良い意味でも使われるようになってきました。教室で子供たちが使っている「やばっ」は、「やばい」が咄嗟に言葉として発せられ、短くなっていて、ほとんどは良い意味、驚きを表現する意味で使われている感じがします。私自身も時に「やばい！」というふうに無意識のうちに口にすることがありますが、どちらかというと悪い意味合い、「危うい」「ピンチ」の局面で使っていることに気がきます。教師になったばかりの頃は、先輩教師に子供の前では、相応しくない言葉だと教えられてきましたが、時代を経て、とても「便利な言葉」になっていました。

「やばい」を言い換えると、「危うい」「危険」「驚異的」「素晴らしい」「最高」などがあります。四字熟語で言えば、「絶対絶命」「最上無二」などもあります。良いことから悪いことまで、幅広く様々な場面で使えるある意味で「便利な言葉」です。「やばい」と同じように、様々な意味を持つ「便利な言葉」には、「すごい」「うざい」「えぐい」、最近では「エモい」なども使われるようになってきています。

便利な言葉は小学生でも簡単に使うようになります。しかし、便利だからと言って限られた言葉ばかり使っていると困ったことも起きます。感情の表現に限られた言葉だけで行われてしまうことです。友達や周りの人に対して感情をうまく伝えられず、誤解を招くこともあるからです。それでも、直接会って話すことができれば、表情などから理解することもできます。しかし、メールでのやり取りでは感情を間違えて伝えることが多発することでしょう。

作家の石井光太氏は、著書「ルポ 誰が国語力を殺すのか」で、「国語力とは、社会の荒波に向かって漕ぎだすのに必要な「心の船」だ。語彙という名の燃料によって、情緒力、想像力、論理的思考力をフル回転させ、適切な方向にコントロールするからこそ、大海を渡ることができる。」と述べています。11月はふれあい月間。人とのかかわりを見直し、振り返るときに、豊かな感情表現を少しでも意識してみることも大切です。言葉を巧みに伝えられない幼い時期でも、受け手の感度をあげながら、伝える力を伸ばしてあげたいものです。

※「やばい」については、『伝える力』が伸びる！12歳までに知っておきた語彙力図鑑 齋藤孝著（日本能率協会マネジメントセンター）を参考にしました。

11月の行事予定

1	水	元気アップ足育月間始(～11月30日)
2	木	クリーン運動①(1～4年・6年) 安全指導日
3	金	文化の日
4	土	
5	日	田柄町会合同防災訓練 9:30～12:00頃
6	月	家庭学習強化週間始 委員会活動(6校時)
7	火	幼稚園・保育所と小学校との懇談会 かぶの種まき(4年) 地域未来塾(2・3年)
8	水	4時間授業 3年生5時間授業(研究会のため)
9	木	避難訓練
10	金	クリーン運動②(5年) 総合・出前授業(4年)
11	土	学校公開日 薬物乱用防止教室(6年) 総合・高齢者疑似体験(4年)
12	日	家庭学習強化週間終
13	月	クラブ活動(6校時)
14	火	展覧会準備(6校時,6年) 1～5年:5時間授業 ソーシャルスキルトレーニング(2年)
15	水	英語4技能検定(6年) <input type="checkbox"/> 座振替日
16	木	たてわり班活動
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	5時間授業
21	火	
22	水	展覧会(児童鑑賞日)
23	木	勤労感謝の日
24	金	展覧会(児童鑑賞日・保護者鑑賞日)
25	土	展覧会(保護者鑑賞日) 給食あり 5時間授業
26	日	
27	月	振替休業日 <11月25日(土)展覧会のため>
28	火	展覧会片付け(5年)
29	水	B時程4時間授業
30	木	元気アップ足育月間終
12/1	金	開校記念日(開校66周年) <休業日>

■田柄町会合同防災訓練について

11月5日(日)に本校校庭と体育館を会場にして田柄町会合同防災訓練が行われます。例年は、田柄中学校で実施してきましたが、田柄中の校舎改築の関係で、4年ぶりに本校において開催することになりました。初期消火訓練、応急救護訓練、炊き出し訓練などを行い、地域で防災意識を高める訓練です。起震車体験、煙体験など、小学生も体験できる内容もありますので、ご都合のつくご家庭は、お子様と足を運んでみてください。

■元気アップ足育月間について

今年度より新たに設定した取組です。これまで年間通じて実施してきた元気アップタイムを今月中に中休みを使って集中的に行います。また、4年前から本校で取り組んでいる足育の学習も全学級で行います。



11月はふれあい月間

11月は、東京都教育委員会が定めた『ふれあい月間』です。ふれあい月間とは、いじめや自殺、犯罪・非行等の問題行動、不登校等の未然防止やその対応に向けた取組の充実を図ることを目的としています。

本校では期間中に「クラスアンケート」や「ふれあいあいさつ運動(児童会主体)」、「いじめ防止ポスター作り(1人1つ作成)」を実施します。どのクラスでも、いじめのない温かいクラスづくりが実現できるように取り組んでまいります。

生活指導委員会

校内研究～算数科を通して～

田柄小では、今年度から算数の校内研究に取り組んでいます。「主体的・対話的で深い学びを実現するための授業の創造 ～算数科を通して～」というテーマで講師の先生をお招きし、皆で授業を見て考えを出し合っています。

5月には6年生が「分数のわり算」、6月には5年生が「小数の倍」、10月には1年3組が「かたちあそび」で研究授業を行いました。今年度も全学年で研究授業を行っています。

子どもたちが、「算数が楽しい」「わかるようになることが楽しい」「もっと問題を解いてみたい」と思えるような算数の授業ができるよう教員同士で学んでいきます。

校内研究担当



タブレットパソコンの活用をすすめる

一人一台のタブレットが配布されて、約3年が経ちました。多くの授業で中で活用することができています。タブレットを使う際、タイピングや取扱いが日を追うごとにスムーズにできるようになってきています。

今後も、たくさん使って慣れることで様々な場面で利用し学習を深めるツールとして活用できるようにしていきたいと思っています。

使用するときには、合わせて情報モラルについても指導していきます。ご家庭でも、「タブレットPCを使うときの約束」「SNS田柄ルール」を参考にして、使い方について今一度、確認をしてください。

ICT活用推進委員会

令和5年度 展覧会を開催

2年に一度の展覧会が近づいてきました。今年度の展覧会テーマ「形や色に 思いをのせて」のもと、各学年が心をこめて取り組んできました。是非ともご鑑賞いただき、今後の励みになるように温かいお声掛けをご家庭でしていただきたいと思ひます。

日時 令和5年11月22日(水)、24日(金)、25日(土)

会場 本校体育館

参加 各家庭の参加人数の制限はありません。

※詳細は、後日配布の手紙、プログラムをご確認ください。

◆保護者鑑賞日◆

11月24日(金) 13時～16時30分(16時受付終了)

11月25日(土) 9時～16時30分(16時受付終了)

※11月24日(金) 児童鑑賞日を兼ねます

※11月25日(土) 5時間授業日(給食あり)

※11月27日(月) 振替休業日

『田柄小の子どもを守る会』がスタート

練馬区では、危機管理課安全安心係が中心となり、各小学校区毎に地域防犯防火連携組織を立ち上げています。多くの小学校区では、既に組織があり、活動も行われてきていますが、田柄小にも今年度7月に、地域防犯防火連携組織が発足しました。「田柄小の子どもを守る会」という組織名です。地域でかかわる方の負担が少なく活動ができるように、田柄小避難拠点連絡会の毎月の集まりの中で、年2回程度を目途に田柄小の子ども達に関する防犯に関する情報交換、取組について意見交換を行っていきます。

この内容は配布したお手紙で確認ください。

11月の生活目標 『進んで考え行動しよう』

*相手の気持ちを考えて行動しよう

*言葉遣いに気をつけよう 学習と遊びのけじめをつけよう

*…たがらっ宣言7にある項目です。